

山口のりひさの
県会議員



活動便り



ワクチンの安定的な供給を

新型コロナのワクチンの供給スケジュールや配分量等の連絡が遅く、市町村や医療機関から改善を求める声が上がっている問題で対応を求めました。また、変異ウイルス対策で無症状者を対象にした大規模検査を求めました。

県は、ワクチン供給は国に改善を求めているとし、大規模検査は消極的な姿勢でした。

(知事と県議会議長、副議長、各会派の意見交換会 6月1日)

浅川の土砂、樹木撤去

長野市の浅川で、堆積した土砂や樹木を撤去する工事が行われており、台風シーズン前に下流の大道橋まで完了する予定です。県議会建設委員会（20年度）で、洪水防止のために重ねて求めてきました。



土砂などの撤去が完了した
檀田大橋から上流部分

果樹の被害に支援を

4月上旬の霜や低温で、リンゴやナシなどが深刻な被害を受けました。樹の手入れの経費、収入保険などのセーフティーネット、被害防止の防霜ファンなどについて、国の補助事業や他県の例も示しながら県の支援を求めましたが、樹の手入れ（枝せん除）以外は期待した答弁がありませんでした。近年、霜、ヒョウ、台風災害などが頻発しており、引き続き災害対策の抜本的な強化を求めます。（農政林務委員会）



被害の大きかった長野市、安曇野市などを現地調査。要望をお聞きしました



凍って花が落ちたリンゴの花（右）・実（上）。収穫量の減少や品質の低下が心配されます



信州伝統野菜を
学校給食で

長野県は、全国有数の伝統野菜の宝庫。もちもろこし（信濃町）、たたら大根（芋井）、戸隠大根（戸隠）など79種類が「信州伝統野菜」に認定されています。

貴重な「食の文化財」を受け継ぎ、また子どもたちの食育のためにも、学校給食での活用について質問。データがないとの答弁だったので、調査と積極的活用を求めました。（農政林務委員会）

本郷、桐原、朝陽駅が無人化

長野電鉄の本郷駅、桐原駅、朝陽駅が7月1日から無人化されました。コロナで利用者が落ち込み、収益が悪化したことが要因のようです。無人化は、切符の購入や電車の遅れなど気軽に話が聞けず、事故など安全面でも心配です。

県議会では、県内公共交通機関の運行継続支援として、2月議会で3億円、6月議会で8億円の予算を議決しましたが、公共交通の役割と深刻な経営実態を考えれば、更なる支援や対策も必要でしょう。

ご意見・ご要望をお寄せください。

